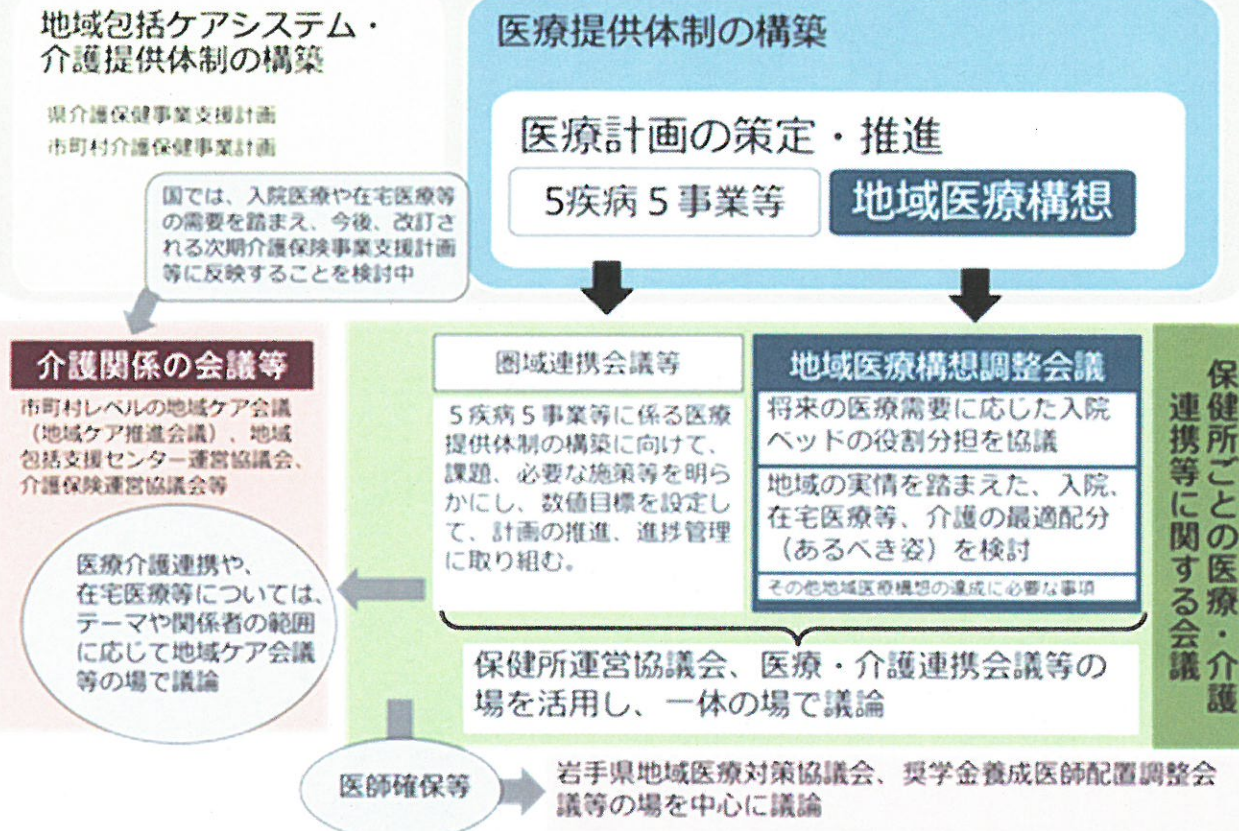


【地域医療構想と地域包括ケアシステム】

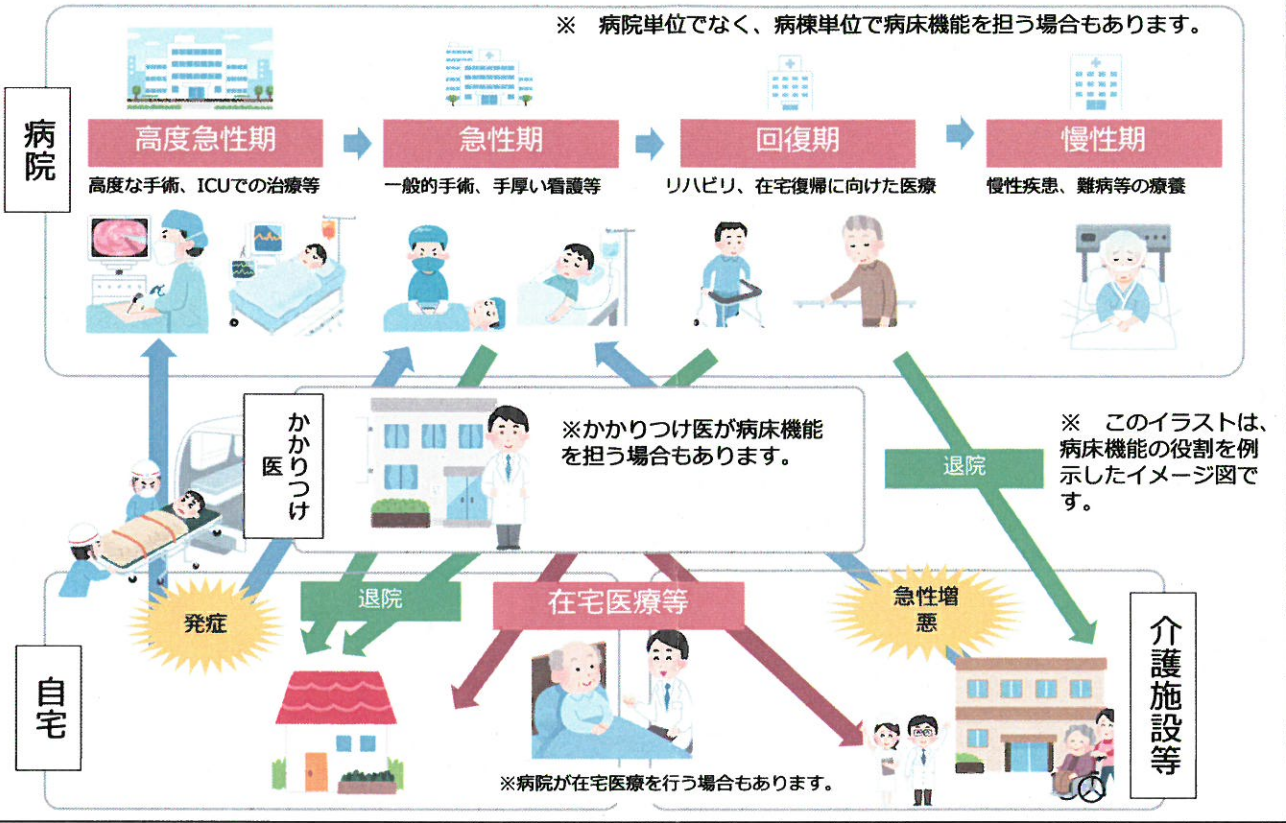
医療と介護の総合的な確保の推進



医療の機能分担

今後の方向性

【病床機能の分化と連携】

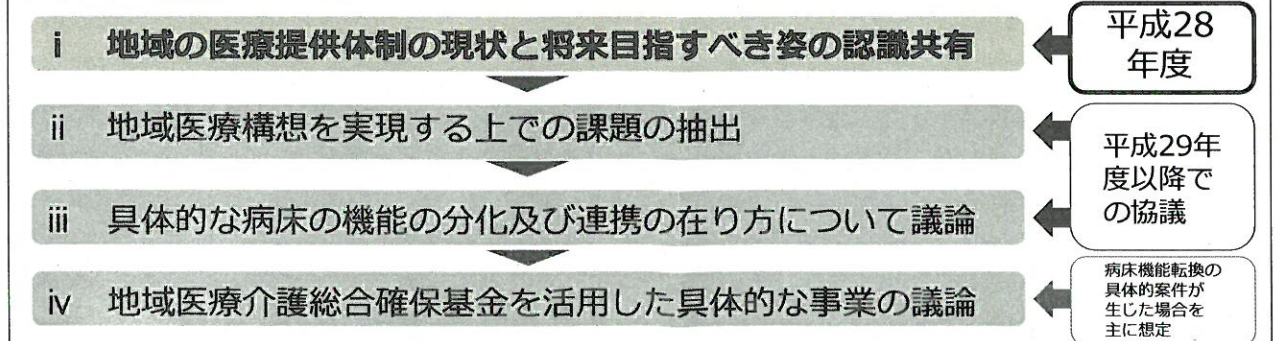


【二戸構想区域における地域医療構想実現に向けた課題】

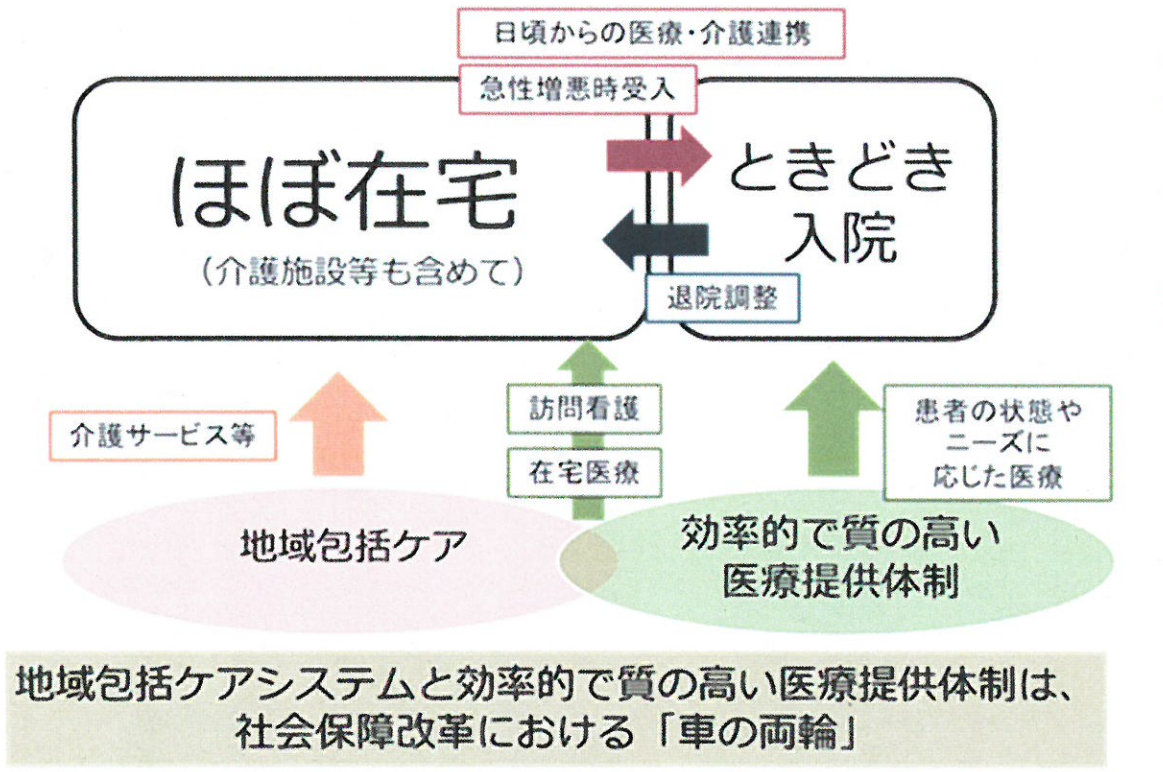
- 過剰となることが予測される急性期や慢性期の病床を、不足することが予測される回復期の病床に転換していくことやこれらの医療資源を在宅医療等の体制整備に活用していくこと等を検討する必要があります。
- 高度急性期については、高度救命救急センターが整備された盛岡構想区域や救急救命センターが整備され、隣接する久慈構想区域との適切な連携体制を引き続き確保する必要があります。
- 急性期、回復期及び慢性期については、盛岡構想区域と連携した医療提供体制となっていることから、盛岡構想区域との適切な連携体制を引き続き確保する必要があります。
- 75歳以上の人口が平成37年にかけて増加することから、高齢化に伴って増加する疾病への対応が必要と考えられます。

(「岩手県地域医療構想」より抜粋)

具体的な議論の進め方



【地域医療構想と地域包括ケアシステムのイメージ】



岩手県保健医療計画（二戸保健医療圏）の取組等状況について

1 「岩手県保健医療計画2013-2017」について

計画の性格	・「医療計画」県の医療提供体制の確保を図るための計画（医療法 第30条の4 第1項） ・「都道府県医療費適正化計画」県の医療費適正化を推進するための計画（高齢者の医療の確保に関する法律第9条第1項）
計画期間	2013年度（平成25年度）から2017年度（平成29年度）までの5か年計画

※平成29年度は次の計画を策定

- 次期岩手県保健医療計画
 - 次期岩手県介護保険事業支援計画
- } 医療と介護の総合的な確保のため整合性を図る

（資料No.5-3 参照）

2 「岩手県保健医療計画2013-2017 地域編（二戸保健医療圏）」について

地域編の内容	がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患及び認知症の疾病と救急医療、災害時における医療、在宅医療等について、保健医療圏ごとに取組について計画を策定。二戸保健医療圏分は、二戸保健医療圏における取組の計画である。
--------	--

3 「岩手県保健医療計画2013-2017 地域編（二戸保健医療圏）」に係る取組等状況について

二戸圏域医療連携会議（平成29年1月11日開催）において、特に二戸圏域で重点的に取組むが必要と認められる次の項目について、意見交換が行われました。

項目	各機関の主な取組	地域における課題等
(1) 医師等医療従事者の確保による医療体制の充実	【県立二戸病院・一戸病院・軽米病院】 保健所と協働した講師派遣や医療現場体験の開催、地域医療実習生の受入、学生職場実習受入 【岩手県看護協会二戸支部】 ふれあい看護体験（看護の日イベント）・カシオペアふれあい看護体験の開催、看護師スキルアップ研修会開催 【市町村】 医師養成事業への拠出、奨学資金貸付 【二戸保健所】 県立病院との協働による中学生を対象とした医師による出前講座・医療現場体験の実施、出前講座・医療現場体験事業実施について市町村教育委員会への働きかけ	◆ 医師の確保が最優先課題 ◆ 奨学金養成医師の一層の拡充と配置調整の促進 ◆ 医師充足が困難であれば、医師の疲弊を防ぐための業務縮小の検討も必要 ◆ 県立病院への医師招聘は県レベルでの努力が必要であるが、各市町村には開業に適した土地の確保や師弟教育への配慮などのより積極的な開業医誘致の努力も必要
(2) がんの医療体制	【県立二戸病院】 がん患者・家族サロン『たんぼぼ』の開設 【二戸市浄法寺診療所】 禁煙外来開始 【二戸歯科医師会】 周術期の医科・歯科がん連携の研究会開催 【市町村】 各種がん検診の普及啓発、受診率向上の取組の推進	◆ がん予防の啓発や検診受診率向上へのさらなる取組むが必要 ◆ 自宅での緩和医療希望者が少なく、また自宅で看護する家族の精神的・肉体的負担が大きいため、看取りにつながっていない
(3) 脳卒中の医療体制	【県立二戸病院】 脳卒中予防のための多職種間勉強会実施、認定看護師の育成、 【市町村】 各種検診や生活習慣病に係る普及啓発、健康教室の開催、食育推進 【二戸保健所】 減塩・適塩事業の推進、脳卒中予防出前健康教育開催	◆ 予防が非常に重要であり、生活習慣病対策のさらなる推進が必要 ◆ 脳卒中発症後の再発予防対策も重要
(4) 急性心筋梗塞の医療体制	【二戸医師会等】 病診連携の推進、施設内禁煙の普及 【市町村】 健診の受診勧奨、特定健診・特定保健指導の実施 【県立二戸病院・二戸広域連合消防本部】 12誘導心電図伝送システムを救急車に導入し、救急車両と救急医療機関の連携による救命率の向上 【二戸保健所】 禁煙マスターによる健康づくり教室の実施、学校施設等における禁煙化実態調査の実施	◆ 早期受診勧奨の推進が必要 ◆ タバコ農家が多い地域であるが、それに関わらず公共の施設等における禁煙・分煙の一層の推進が必要
(5) 在宅医療の体制	【県立二戸病院・二戸保健所ほか】 カシオペア地域医療福祉連携研究会による医療・福祉連携の取組（市民フォーラム開催、カシオペアオーダーメイド出前講座実施、地域版事前指示書印刷・配布の取組） 【県立一戸病院】 一般診療科訪問診療・訪問看護及び精神科訪問看護実施 【二戸医師会】 在宅医療人材育成研修事業実施 【二戸歯科医師会】 歯科医療従事者研修会及びグループワーク実施 【市町村】 地域包括ケアシステムの構築推進 【二戸保健所】 医療・介護関係者、関係団体、行政の協議の場としての二戸圏域在宅医療確保推進会議の設置	◆ 在宅医療の患者家庭は、自宅看護のために介助者が付き添える恵まれた環境であり、誰でも在宅医療に移行できるものではない ◆ 在宅医療は大事であるが、自宅訪問よりも施設での看取りを自然にしていける方がより効率的にマンパワーを活用できる ◆ 訪問看護も採算がとれず、また家族が面倒をみられる状況になく、現実的には施設に担ってもらえない ◆ 在宅医療の推進のために不可欠な訪問看護ステーションが、人材確保困難を理由に、事業撤退が相次いでいる（＝看護師不足） （27年度）3か所⇒（29年度当初）1か所

